

第59回自衛消防隊消火競技大会



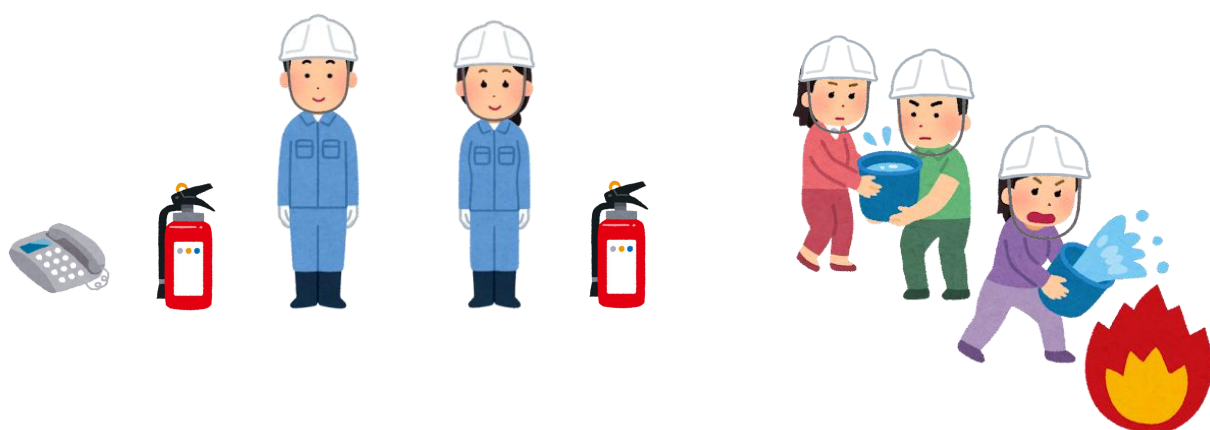
消 火 器 の 部

消 火 バ ケ ツ の 部



日 時 令和8年9月15日(火) 午前10時00分 から

場 所 会津若松市古川町9番21号
会津若松消防署城南分署訓練場



主 催 会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部
共 催 会津若松地方危険物安全協会
会津若松地方防火管理者会
会津若松地方消防設備協会

第59回自衛消防隊消火競技大会次第

1 開 会 式

- (1) 開会のことば
- (2) 大会会長あいさつ
- (3) 三協会会長代表あいさつ
- (4) 競技上の注意
- (5) 準備運動

2 競 技 開 始

- (1) 消火器の部 (男子)
- (2) 〃 (女子)
- (3) 〃 (混合)
- (4) 消火バケツの部

3 競 技 審 査

4 閉 会 式

- (1) 成績発表
- (2) 賞状授与
- (3) 講評
- (4) 閉会のことば

自衛消防隊消火競技大会実施要綱

1 目 的

各事業所の自衛消防組織を強化させるとともに、火災時等における適切な通報と消火器及び簡易消火器具の的確な操作技術を身につけさせ、初期消火体制の万全を期することを目的とする。

2 日 時

令和8年9月15日（火）午前10時00分 から

3 会 場

会津若松市古川町9番21号 会津若松消防署城南分署訓練場

4 受付時間

午前9時15分から会場に集合したチームより随時受付を開始し、午前9時45分までとする。

5 競 技

（1）消火器の部

ア 競技は各事業所より、1チーム2名の編成で、次により行う。

- 男 子 の 部（年齢制限なし）
- 女 子 の 部（年齢制限なし）
- 男女混合の部（年齢制限なし）

イ 出場選手は各事業所、男子の部、女子の部、男女混合の部の各部門1チームまでの出場とする。

ウ 消火器は水消火器を使用する。

（水消火器は大会事務局で準備する。）

エ 服 装

消火活動に適した服装とし、手袋（軍手）、保安帽（ヘルメット）等を必ず着用すること。

オ 実施要領

「消火器競技実施要領」による。なお、当該要領については、消防本部ホームページに掲載し、参加申し込みのあった事業所に別途郵送する。

カ 審査及び採点要領

各チームに持点300点を与え、減点法により採点してその残点の合計をチーム得点とする。

① タイム得点（持点200点）

ア タイムは2名で計測し、2名のタイムが異なる場合は、中間値とする。

イ 進行係の開始の警笛から、消火完了し、ゴール地点に1番員または2番員の遅い者が入るまでを計測し、所要時間1秒1点の割合で差し引いた残りの点数をチーム得点とする。

② 動作得点（持点100点）

別に定める「行動審査表」ごとに該当点を差し引いた残りの点数をチームの動作

得点とする。

※転倒又はケガ等による競技続行不能については審査長判断とする。

③ 順位の決定

所要タイムと動作の得点を加算し、総得点の大なるものを優位とする。

(2) 消火バケツの部

ア 競技は各事業所より、1チーム3名の編成で、年齢制限なし、男女混合を可とする。なお、各事業所1チームまでの出場とする。

イ 服 装

消火活動に適した服装とし、手袋（軍手）、保安帽（ヘルメット）等を必ず着用すること。※消火バケツ競技時、衣服、靴が濡れることが想定されるため、濡れてもよい格好とすること。

ウ 実施要領

「消火バケツ競技実施要領」による。なお、当該要領については、消防本部ホームページに掲載し、参加申し込みのあった事業所に別途郵送する。

エ 審査及び採点要領

各チームに持点250点を与え、減点法により採点してその残点の合計をチーム得点とする。

① タイム得点（持点200点）

ア タイムは2名で計測し、異なる場合は中間値とする。

イ 進行係の開始の警笛から、全ての標的を倒し、「消火完了」の呼称までを計測し、所要時間1秒1点の割合で差し引いた残りの点数をチームの得点とする。

ウ 制限時間については2分とし、2分経過したら競技終了とする。

② 動作得点（持点50点）

別に定める「行動審査表」ごとに該当点を差し引いた残りの点数をチームの動作得点とする。

※転倒又はケガ等による競技続行不能については審査長判断とする。

③ 順位の決定

所要タイムと動作の得点を加算し、総得点の大なるものを優位とする。

6 表 彰

- ・消火器の部の各部門及び消火バケツの部ごとに優勝、準優勝、特別賞それぞれ1チームとする。
- ・参加者全員に参加賞を授与する。

7 その他

- ・消火器の部と消火バケツの部に重複して参加可能とする。
- ・感染症対策は各自とするが、熱中症予防のため競技中はマスクを外して実施することとする。

消火器競技実施要領

実施事項	1 番 員	2 番 員
待機 競技準備	・スタートラインで「休め」の姿勢で待機する。進行係の確認後「準備よし」と呼称後、「気を付け」の姿勢をとる。	・スタートラインで「休め」の姿勢で待機する。1番員の準備よし後、「気を付け」の姿勢をとる。
競技開始	・進行係の警笛及び赤旗により、カラーコーンの通路内に向かい火災発見場所内（別紙レイアウト図のB地点内）で標的を指差し「火災発見」と呼称後、「火事だー」と3回連呼する。連呼後にスタート地点まで戻り、スタートラインを超えて2番員に「火災発見、119番通報」と呼称後、2番員の「よし」を確認し、水消火器を持ち、通路先の枠内で停止後、水消火器を操作し、2メートル先に置かれた標的（消火装置）に放水。 ・火が完全に消えた時点で「消火完了」と呼称する。 ・水消火器を消火器置場に置く。	・1番員の「火災発見、119番通報」を聞いた後、「よし」と呼称した後に、電話機に至り、下記要領により119番通報をする。 ①119番をダイヤルする。 ②受信者の問いに対し応答する。 - 通信員「火事ですか、救急ですか」 2番員「〇〇市（町、村）〇〇が火事です。」 - 通信員「分かりました」 2番員 電話を切る ・通報後、電話機付近に置かれた水消火器を持ち、カラーコーンの通路内に向かい、通路先の枠内で停止後、水消火器を操作し、訓練用標的が消火完了表示（審査員の警笛）された時点で「消火完了」と呼称する。 ・水消火器を消火器置場に置く。 ※通信員については消防署員
競技終了	・「消火完了」を呼称後、ゴール地点に向かう。（別紙レイアウト図E地点）	・「消火完了」を呼称後、ゴール地点に向かう。（別紙レイアウト図E地点）

・別紙レイアウト図（消火器の部）参照。

・競技タイムの測定は、進行係の開始の警笛から消火完了してゴール地点に、1番員又は2番員の遅い者が入り、進行係が警笛を鳴らし、赤旗を上げた時までの時間とする。

消火バケツ競技実施要領

実施事項	1 番員	2 番員	3 番員
待機 競技準備	スタートラインで「休め」の姿勢で待機する。進行係の確認後「準備よし」と呼称後、「気を付け」の姿勢をとる。	スタートラインで「休め」の姿勢で待機する。1 番員の準備よし後、「気を付け」の姿勢をとる。	スタートラインで「休め」の姿勢で待機する。1 番員の準備よし後、「気を付け」の姿勢をとる。
競技開始	2 番員の「火災発見」を聞いた後、「よし」と呼称した後に簡易水槽に至り、バケツに水を汲む。 <u>2 番員に水バケツを渡す。※1</u> (A地点ラインを超えない) (標的が全て倒れない場合) <u>2 番員から戻ってきた空バケツを受け取り、水を汲む。※2</u> 3 番員の「消火完了」の呼称まで※1から※2の動作を繰り返す。	- 進行係の警笛及び赤旗により、「火災発見」と呼称し、標的を指差す。 1 番員、3 番員の「よし」を確認し、別紙レイアウト図の A 地点に向かう。 (A 地点ラインの火点側) <u>1 番員から水バケツを受け取り、3 番員に渡す。※1</u> (標的が全て倒れない場合) <u>3 番員から戻ってきた空バケツを受け取り、1 番員に渡す。※2</u> (A 地点ラインを超えない) 3 番員の「消火完了」の呼称まで※1から※2の動作を繰り返す。	2 番員の「火災発見」を聞いた後、「よし」と呼称した後に別紙レイアウト図の B 地点に向かう。(B 地点ラインを超えない) <u>2 番員から水バケツを受け取り、C 地点の標的(どちらからでも可)を倒す。(2 カ所の標的を全て倒す) ※1</u> (標的が全て倒れない場合) <u>空のバケツを 2 番員に渡す。※2</u> (A 地点ラインを超えない) - 標的が全て倒れるまで※1から※2の動作を繰り返す。
競技終了	3 番員の「消火完了」の呼称後、その場で終了とする。	3 番員の「消火完了」の呼称後、その場で終了とする。	標的が全て倒れたら「消火完了」と呼称する。その場で終了とする。

- ・ A 地点、B 地点、C 地点については別紙レイアウト図（消火バケツの部）参照。
- ・ 競技タイムの測定は、進行係の開始の警笛から 3 番員が消火完了と呼称後、進行係が警笛を鳴らし、赤旗を上げた時機までの時間とする。
- ・ 制限時間を 2 分とし、2 分が経過したら進行係が警笛及び赤旗を上げ終了とする。

自衛消防隊消火競技大会会場レイアウト



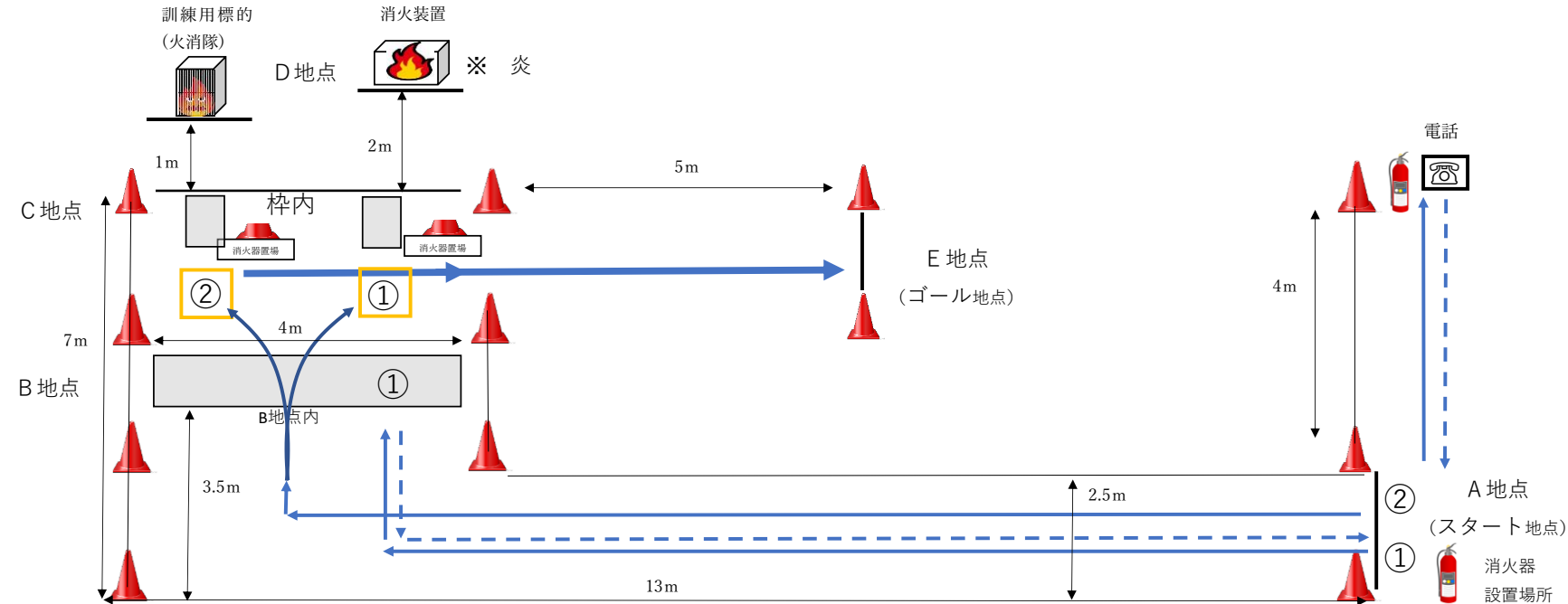
自衛消防隊消火競技大会レイアウト図（消火器の部）

1 番員：①

進行係の開始の警笛及び赤旗が上がったら、①はカラーコーン内の通路から B 地点へ向かい火災を発見する。
B 地点内で炎が出ている標的を指差し「火災発見」と呼称後、「火事だー」と三回連呼する。A 地点に戻り（体を A 地点線内に入れる）
②へ「火災発見、119 番通報」と呼称後、消火器設置場所にある水消火器を持って C 地点へ向かう。

C 地点枠内にて停止してピンを抜き、D 地点の消火装置に向け消火器操作を実施する。
炎が完全に消えたら、枠内で「消火完了」と呼称。その後、消火器置場に水消火器を置き、E 地点（ゴール地点）に向かう。

※ C 地点の 1 m 四方の枠内で停止し、水消火器のピンを抜き、①は消火装置へ②は消火的に向けて消火器操作を実施する。



2 番員：②

①の「火災発見、119 番通報」の呼称まで A 地点で待機する。
①の「火災発見、119 番通報」の呼称後、②は「よし」と呼称し電話へ向かう。
119 番通報する。
通信員：「火事ですか、救急ですか」
②：「〇〇市（町、村）〇〇が火事です」
通信員：「分かりました」
電話を切る。

通報後、電話付近の水消火器を持ちカラーコーン内の通路を通り C 地点へ向かう。
C 地点の枠内で停止してピンを抜き、D 地点の訓練用標的（火消隊）に消火器操作を実施する。
消火完了表示後（審査員の警笛）、枠内で「消火完了」と呼称。その後、消火器置場に水消火器を置き、E 地点（ゴール地点）へ向かう。

①は炎が完全に消えた後、②は消火完了表示後（審査員の警笛）、消火器置場に水消火器を置き、E 地点（ゴール地点）に向かう。
①、②の遅い方が E 地点線内に体全体が入った時点で競技終了。

タイム計測：A 地点で進行係の開始の警笛及び赤旗を上げた時から E 地点に①、②の遅い者が入り、進行係が赤旗を上げた時までの時間
行動審査：A 地点で進行係の開始の警笛及び赤旗を上げた時から E 地点に入るまで

自衛消防隊消火競技大会レイアウト図（消火バケツの部）

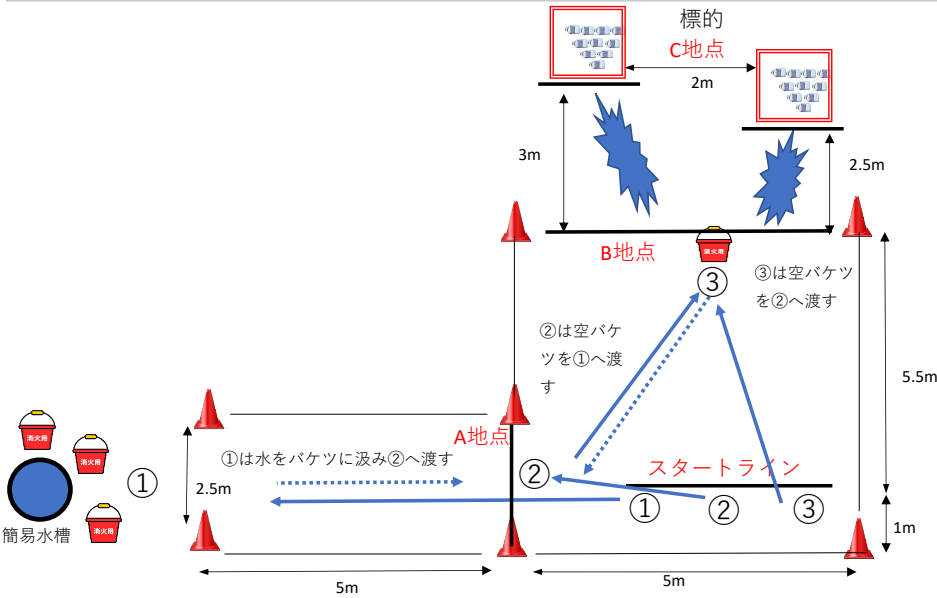
人数：3名

制限時間：2分 ※2分以内で標的を倒しきれないときは終了とする。

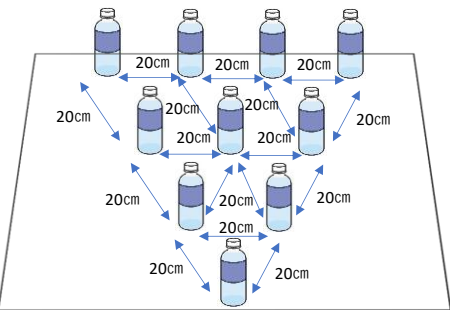
タイム測定：進行係の警笛及び旗が上がった時から、標的を全て倒し、進行係が警笛及び旗を上げるまでとする。

バケツは簡易水槽付近に3個。受け渡しは1個とする。（※両手にバケツを2個以上持たない）

- ①：1番員 行動範囲（スタートライン後、水槽からA地点まで）
②：2番員 行動範囲（A地点からB地点）
③：3番員 行動範囲（A地点火点側からB地点スタートライン側）



標的配置詳細(2カ所)



1.5ℓペットボトル容器(水満タン)
10本配置
※ペットボトルの配置は各ボトルの中心からの間隔

①の動き

スタートラインに着く。
開始の合図後、②の「火災発見」呼称後、「よし」と呼称。
※1 簡易水槽からバケツで水を汲む。（入れる量にあっては指定しない）
②に水バケツを渡す。（A地点ラインを超えない）

①はA地点で空バケツを②から受け取る。（A地点ラインを超えない。）
※1に戻る。

②の動き

スタートラインに着く。
開始の合図で標的を指差し「火災発見」と呼称する。①、③の「よし」を確認後、A地点に向かう。（A地点ラインの火点側）
①から水バケツを受け取り、B地点の③に水バケツを渡す。
※受け渡しはA地点からB地点内とする。

②は空バケツを③から受け取る。
①に空バケツを渡す。
※A地点ラインを超えない。

③の動き

スタートラインに着く。
開始の合図後、②の「火災発見」呼称後、「よし」と呼称しB地点に向かう。（B地点ラインを超えない）②から水バケツを受け取り、C地点の標的（2カ所どちらからでも可）を倒す。全て標的を倒したら「消火完了」と呼称する。標的が倒れなかったら、空バケツを②に渡す。

※標的が倒れるまで繰り返す。制限時間2分